

令和5年度

ときがわ

ときがわ町立都幾川中学校

避難所開設体験



全学年

特色

- 山間・河川の通る学校区であり、洪水・土砂災害の危険のある地区であることから、自助はもちろん、共助の担い手となれる知識と実践力を身に付けることを目的に実施している。
- 町の防災担当課の職員に指導を依頼し、実際の避難所開設時に使用する資材・器具・方法を直接触れて体験している。
- 避難所受付や開設の仕方、段ボールベッド・携帯トイレ・発電機・無線機等の使用、防災食の試食等に取り組む。

生徒の感想

- 段ボールベッドの組立や避難所受付の案内をして、この経験が使われないで済むのが一番だが、もし災害が起きてしまったとき、まずは自分の身を守り、次に人を助けられるようにしたい。
- 今回の体験学習で、災害に備えておくこと、防災の知識を持つこと、避難所では積極的に行動することが大切だとわかった。

成果

- 本物の避難所資材や防災食に触れる体験を通して、防災や災害時に必要な知識が身につき、自助・共助に対する意識の高まりが感じられる。万が一の場面での実践力が伴うよう工夫を続けたい。